



令和4年1月31日

各位

会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
代表者名 代表取締役社長 襟川 陽一
(コード番号 3635 東証第一部)
問合せ先 取締役専務執行役員CFO 浅野 健二郎
(TEL 045-562-8111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和3年4月26日に公表いたしました令和4年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期の連結業績予想（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	65,000	24,500	36,500	26,500	160円23銭
今回修正予想 (B)	71,000	31,500	43,500	32,000	194円18銭
増減額 (B-A)	6,000	7,000	7,000	5,500	—
増減率 (%)	9.2	28.6	19.2	20.8	—
(ご参考) 前期実績 (令和3年3月期)	60,370	24,397	39,299	29,550	178円68銭

※当社は令和3年12月2日開催の取締役会における決議に基づき、令和4年1月31日に自己株式を取得いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

2. 修正の理由

スマートフォンゲームでは、国内及びアジア各地域で配信中のIP許諾タイトル『三国志・戦略版』(国内では『三国志 真戦』)が、中国でのキャンペーンや各地域でのアップデートにより、好調を維持しています。国内及び台湾・香港・マカオ地域で配信中の自社開発スマートフォンゲーム『三国志 覇道』も、新規イベントを開始するなど各種施策に取り組み、収益に貢献しました。パッケージゲームでも、複数の新作やリマスター版を発売し、リピート販売も堅調となりました。また、金融市場が不安定な環境下においても有価証券売却益を計上し、営業外収益も高い水準となりました。以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益のすべての項目で第3四半期連結累計期間として最高の業績を達成し、営業利益、経常利益、四半期純利益は2021年4月に公表した通期業績予想を上回る成績となりました。

これらにより、通期の連結業績予想について上記のとおり修正をいたします。

[業績等の予想に関する注意事項]

業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上